

西暦 2026 年 6 月 17 日 第 1 版

臨床研究へのご協力をお願い

水戸医療センターでは、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している方の個人情報等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

また本研究は観察研究であり、研究対象者への侵襲や介入がなく、診療情報などの情報のみを用いて実施されます。研究対象者の同意を得ることは時間・費用等に照らし研究の遂行に支障を及ぼすため、研究の目的を含めて研究の実施についての情報を通知または公開して可能な限り拒否の機会を保障すること（オプトアウト）により実施します。

〔研究課題名〕 母指 CM 関節症に対する骨切り手術の治療成績を検討する後ろ向き症例蓄積研究

〔研究代表者・機関の長の氏名〕

独立行政法人国立病院機構水戸医療センター 整形外科 會澤 紘樹

機関の長 米野琢哉

〔研究の背景〕

母指 CM 関節症は、親指の付け根にある関節（母指手根中手関節）の軟骨がすり減るとで生じる疾患であり、中高年女性に多くみられます。進行すると、物をつまむ、瓶のふたを開ける、字を書くなどの日常生活動作で疼痛や力の入りにくさが生じ、生活の質（QOL）の低下につながります。

治療は装具療法や内服、加療などの保存治療が基本となりますが、症状が改善しない場合には手術治療が行われます。母指 CM 関節症に対する手術にはさまざまな方法がありますが、近年では関節を温存できる治療法として骨切り術が行われるようになっていきます。骨切り術は、骨の角度を調整することで関節への負担を減らし、疼痛改善や機能回復を目指す治療法です。

〔研究の目的〕

研究では、当院で母指 CM 関節症に対して骨切り術を施行した患者さんを対象に、術後成績を調査し、本術式の有効性や安全性について検討することを目的としています。

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

母指 CM 関節症の患者さんで、当院にて手術の治療を受けた方

●研究期間：院長許可日から西暦 2027 年 3 月 31 日

●利用開始日：西暦 2026 年 8 月 1 日

●利用する試料（血液・組織等の検体）、カルテ等の情報

カルテ等の情報：

診断名、年齢、性別、画像検査、合併症など

●試料や情報の管理

情報は、研究代表機関である水戸医療センターで個人を識別できないように、適切に保管・管理し、研究終了後 10 年で廃棄します。

[研究組織]

●研究代表者（研究の全体の責任者）：

独立行政法人国立病院機構水戸医療センター
診療科 整形外科 医師 會澤 紘樹
機関の長 院長 米野 琢哉

●その他共同研究機関等：該当なし

[個人情報の取扱い]

研究に利用する試料や情報を院外に提出する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できる情報は削除し、研究用の番号を付けます。当院の研究責任者は、研究用の番号とあなたの名前を結び付ける情報も含めて、責任をもって適切に管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報が公表されることは一切ありません。

将来、この研究で得られた情報も別の研究に利用（二次利用）する可能性があります。その場合も個人を直ちに判別できる情報を出すことはありません。二次利用する場合は、その研究計画について改めて倫理審査委員会及び研究機関の長の承認を得て実施となり、その内容は参加機関のホームページ等で公開されます。

[研究の資金源、利益相反について]

この研究は、院内臨床研究費を用いて実施されます。この研究における当院の研究者の利益相反*については、当院の臨床研究利益相反委員会で審査され、適切に管理されています。また、研究組織に係る研究者の利益相反については、それぞれが所属する機関において、適切に管理されています。

[研究の参加について]

患者さん又はその代理の方が、この研究への参加（試料（血液・組織等の検体）やカルテ等の情報を利用すること）にご協力いただけない場合は、研究責任者等又は「問い合わせ先」にご連絡ください。研究にご協力されなくても、診療等において不利益を受けることはありません。ただし、ご連絡いただいた時期によっては、この研究の結果が論文などで公表されているなどであなたのデータを取り除くことができない場合がありますことをご了承ください。

[問い合わせ先]

国立病院機構水戸医療センター 整形外科 医師 會澤 紘樹

* 責任者の所属部署、氏名を記載して下さい

電話 029-240-7711 FAX 029-240-7788